



子どもに寄り添える団体として成長するために

一般社団法人新潟県子ども会育成連合会 会長 須田 貴子

日頃より、子ども会活動にご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、世界的に広がった新型コロナウイルスは、コロナ禍で外出することへの不安や在宅時間の増加に伴う様々な課題が出ています。柏崎市の家庭教育支援チームが子育て中の幼児保護者約490名を対象に感染症の影響下にある生活実態や心身状態等を把握するため「子育て家庭への緊急アンケート」を実施したところ

「感染禍で経済的に困窮し、今後どのように子どもを育てたらいいのか不安」「自粛期間中、子どもから離れて一人になる時間が多かった」



「気軽に子どもを預けられるところがほしかった」「子どものメディア利用が増えた」などの声がありました。このような状況下で、子どもに関わる多くの皆様も三密を避けながら子どもへの支援活動や体験活動の場を模索されたことと存じます。

当会も関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会新潟大会の開催に向け準備を進めて参りましたが、全国的に新型コロナウイルス収束への出口が見えない状況が続いていることから通常開催を断念し、安全に配慮した大会を運営するためのマニュアルづくりや第3分科会では一部内容を変更し、感染症を災害と捉え「子ども会活動における安全啓発をどのように推進するか」をテーマと致しました。



子ども会活動に関わらず、多くの皆様とともに新しい生活様式を取り入れた組み合わせ方などを一緒に考えていただく機

会にしたいと思っておりますので、お気軽にご参加いただけますよう、心よりお待ち申し上げます。

結びに、これから新入生の歓迎会等を予定されている子ども会もあろうかと思えます。是非その際には、最新の安全対策を活動計画の中にも



取り入れ、子どもたちが安心して参加できる活動となるよう、ご配慮のほど宜しくお願い申し上げます。

今後の予定

- 第四十五回県子連総会(田上町) 五月九日(日)
- 第一回理事会 六月六日(日)
- 県子連だより 第二三五号発行 六月十一日(金)
- 関フロ総会(ホテルオークラ新潟) 六月十三日(日)
- 第一回JL中級研修会 六月二十七日(日)



夫をして
いました。
多様な体
験や関わ
りをとお
して、次
代を担う
地域の子
どもが育
まれてい
ることを
実感しま
した。

上越管内の地域子ども会は499
団体、県子連加入団体は1998団体
あり、各地域の子ども会や公民館等
を中心に、様々な青少年事業が行わ
れています。
上越教育事務所では、今年度の事
業訪問で、謙信KIDSプログラム
「上越の城」・夏休み☆子どもつどい
の広場（上越市）、放課後子供教室
（妙高市）、青少年活動指導者養成事
業（糸魚川市）等を視察しました。
異年齢の子どもたちが活動を通し
て、地域の歴史や文化を知り、主体
的に地域社会や地域の大人と関わる
姿がありました。指導者はウイズコ
ロナ禍の活動の在り方を学び合い、
より質の高い活動を構想しようと工



担ってい
ます。子
ども会活
動を通し
て、地域
の人々が
つながり、
持続可能
な地域づ
くりにつ
ながるこ
とを期待
していま
す。

上越管内3市は全ての小中学校が
コミュニティ・スクールです。コ
ミュニティ・スクールでは子どもを
中核とした学校と地域の連携・協働
が求められています。子ども会は、
地域学校協働活動団体の一つとし
て、学校との連携・協働の取組を進
めることが大切です。それにより地
域の子どもたちの生きる力や自主
性、人間関係形成力、コミュニケーション
能力等を培ったり、安全・安
心な環境づくりを促進したりするこ
とが期待されます。
子ども会は地域の様々な住民活動
と密接に結び付いており、地域ぐる
みの青少年育成活動としての役割を

子ども会活動に期待すること

上越教育事務所 社会教育課長 石田 浩久



関ブローJL新潟大会に向けて

リーダーズクラブ代表 前澤 啓人

一昨年、茨城県で開催された関
東ブロックに参加してきました。
そこで、レクリエーションや仲間
との交流を通して楽しい一時を過
ごした経験を活かし、この実行委
員会に入りこの間、新潟大会では
どのような活動をするかの話し合
いに参加しました。そこで様々な
案をまとめ、ざっくりとその大会
で行いたい活動を決めました。し
かし、それは一昨年や昨年の大会
で行ったものがほとんどでした。
僕はもっと大会を盛り上げるよう
な活動は何か考えました。
そこで一昨年参加した関東ブ
ロックの事を思い出しました。そ
の大会ではとても楽しんで活動す
ることはできましたが、そこで
ジュニア・リーダーとして、これ
から大人になっていく一人の子ど
もとして、何か目標を立て、それ
を達成し、成長することができて
いないような気がしました。その
ことから、この大会では参加者全
員が成長できるような「ジュニ
ア・リーダーとしての学び」や
「人付き合いでの学び」を深められ
るようなコミュニケーションを多

くられるような活動を設けたいと
思いました。もちろんその他にも
より多くの人と協力して楽しめる
ような活動もたくさん設けるつも
りです。ただし、できるだけ自分
達が思い付いた今までのことが
無いような活動で参加者の皆さん
を楽しませたいと考えています。
このように学びを得られる活
動、レクリエーションなど仲間と
楽しめる活動をオリジナルで生み
出し、それぞれバランスよく設け
ていこうと思いました。そしてそ
のような方向性で話し合いを進
め、皆の意見をまとめるように努
めていきます。「新潟大会に参加
してよかった。」と思ってもらっ
て帰った
場所で大
会で経験
したこと
を活かし
てくれる
ようにな
るのが僕
の望みで
す。



上越地区

子ども交流キャンプに参加して

高柳子ども会

五年 宮下 光莉

私が参加した子ども交流会のキャンプについて紹介します。

今年度は新型コロナウイルスにより例年とはちがう活動になりましたが、その活動の中で楽しかった活動を3つ紹介します。

1つ目はエンジヨイタイムです。キャンプでは最初に、参加した子どもたちと仲良くなるためにエンジヨイタイムという活動を行います。はじめはみんなだまっていたけれど、ゲームを続けるうちにみんな仲良くなりました。

次に施設で、マークを探すゲームをしました。45分間に施設の中にある22個のマークを探すゲームです。探したマークが合っていた数で勝負します。私たちの班は、どの班よりも早く探し終わりました。結果は全部のマークが合っていて1位でした。みんなと協力しあって1位がとれてうれしかったです。

2つ目はレクリエーション大会です。例年はキャンプファイヤーやキャンドルセレモニーをやっていますでしたが、今年は新型コロナウイルスにより中止になったのでレクリエーション大会になりました。私たちはクイズを5問だけしました。どの班も正解できない問題を2問だけ出したのがうれしかったです。



す。他の班はこわい話をしたりするまさんがころんだをしたりとたくさんゲームをして、とても楽しかったです。

3つ目は2日目にあつた源流探検です。はじめは川の水がとても冷たかったけど、だんだん冷たさにもなれてきて気持ち良く感じできました。水の中はすべりやすく何度も転びそうになりました。川にいる生き物をつかまえました。

つかまえた生き物の中には私をはじめ見る生き物もたくさんいました。川の中を歩くことはなかなかないので達成感があつてもいい気持ちになりました。

私がこのキャンプに参加した理由は、はじめて会う子でも仲良くなつて楽しく過ごしてみたかったからです。はじめての子と仲良くなると自分の自分とはちがう自分が見えたり、「私ってこんなことができるんだ。」と新しい発見ができます。これから成長していく

には、こういう経験することとても大切だと思います。みなさんも初めての経験ができることにチャレンジしてみてもいい発見をしてみてください。

中越地区

トライウォークに参加して

柏崎市子ども会

中学三年 金田 妃暖

柏崎の自然を満喫できたすてきなイベントでした。今年度は新型コロナウイルスの流行により、「ぎおん祭り」や「えんま市」がなくなるなど、非常に悲しい出来事ばかりでした。自粛期間が続き、今年度は家族と海に行くといったことができていなかったのですが、今回のトライウォークを通して改めて柏崎の自然の美しさを感じることができました。

また、トライウォーク中にゴミ拾いを行うなど、自然を守る活動も同時に行いました。十キロメートル歩くことは、正直つらかった



ですが、「がんばれ」と支えあいながら歩くことはとても気持ちの良いことでした。本当にあつという間でした。なかなか旅行など行けない時期が続いてい



ますが、こういう時だからこそ見つけられるもの、見つめ直せるものがあると思います。ぜひ、いろいろな方に柏崎の自然の美しさを感じ、触れ合ってもらいたいと思います。



佐渡地区

みんなで体を動かそう！

佐渡市目黒町子供会

六年 鹿取 悠

目黒町子供会では、毎年、空き缶拾い、夏のお楽しみ会、三月には六送会を行っています。夏のお楽しみ会は、公民館に集まって、フッキングや工作をします。夏のお楽しみ会は、何をやるのかみんなに意見を聞いて、計画を立てていたところ、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一旦は中止になってしまいました。

佐渡では、夏の祭りなどのイベントはどこも中止になったり、学校のプールがなかったりと、少し寂しい気持ちになりましたが、十一月に入り、佐渡の感染状況は落ち着いていることから、フッキングなどの飲食をしない形で何か行事をやってみようということになりました。一年生～六年生がみんなで一緒に楽しめる事を考え、今回は体育館でゲームと軽スポーツをするこ



とに決まりました。夏の祭りは全て中止で、みんなも残念に思っているかなと考え、ゲームは、手作りで輪投げ、ペットボトルボーリング、磁石をつけたつり竿でおかしと折り紙をつるつり大会をしました。そして、それぞれのゲームには景品も用意しました。つり用のおかしにすべてクリップを付けたり、みんなの折り紙を用意するのはとても大変でしたが、みんなが喜んでくれて私もうれしかったです。大人がそれぞれのゲームのお手伝いしてくれました。次に、風船バレー、そして親子で、転がしドッジボールをしました。十一月も後半で寒さも心配でしたが、みんなで体を動かしているうちに、汗をかく位に暖かくなり、大人も真剣になっていました。普段、子ども会のメンバーがみんな集まって遊ぶ機会もない中、親子で交流ができて良かったです。六年生最後のお楽しみ会も、とても良い思い出になりました。

下越地区

みんなで勝負!!

運動会 クラレ子供会

四年 池田 凧

僕の子ども会では、十一月に運動会をしました。毎年クリスマス大会があるのですが、今回は、コロナウイルスが流行しているということで、外で活動しました。

最初は、大縄とびをしました。子どもは十人くらいいますが、三チームに分けて、それぞれ何回とべるかを競いました。

二つ目は大玉転がしです。バランスポールを親子二人でころがしました。どのくらいの速度でいくのかを合わせるのが大変でした。三つ目はしっぽとりをしました。

大人が番号が書いてあるひもをつけて、子どもが追いかけてました。大人が速くて大変でした。でも、とつた番号の景品とこつかんするときは、どんな物がもらえるのかワクワクしました。カレンダーやティッシュ、ポーチなど色々ありました。



四つ目は、パン食い競走です。パンのふくろをかむのがむずかしかったです。最後は、リレー対決でした。

た。初めは子ども対子どもで勝負、二回目は大人対子どもで勝負しました。大人は強いけれど負けたくないと思いい、全力を出しました。どちらもいい勝負で楽しかったです。



コロナがあつてなかなか集まる機会が少なかったのですが、みんなで体を動かすことができました。楽しかったです。

編集後記

弥生三月、春の訪れが感じられる頃となりました。全国的に新型コロナウイルスの感染者数は、減少傾向にありますが、変異種の出現等により、まだまだ心配される状況が続いております。一刻も早い、ワクチン接種が望まれます。さて、今年は、延期されておりました関フ口新潟大会を何らかの形で、長野県に引き継ぎたいと思っております。感染状況次第ですが、県人のみの実施やネット配信等も考慮する必要があるかもしれません。原稿をお寄せいただきました皆様方に感謝申し上げます。(文責：板垣)

【編集発行】

一般社団法人
新潟県子ども会育成連合会
〒九五一-八三三
新潟市中央区白山浦一三〇〇
電話〇二五-三三〇-五九八
FAX〇二五-三三〇-五九九